

ライオンズクラブ国際協会  
愛と知性でまごころ奉仕

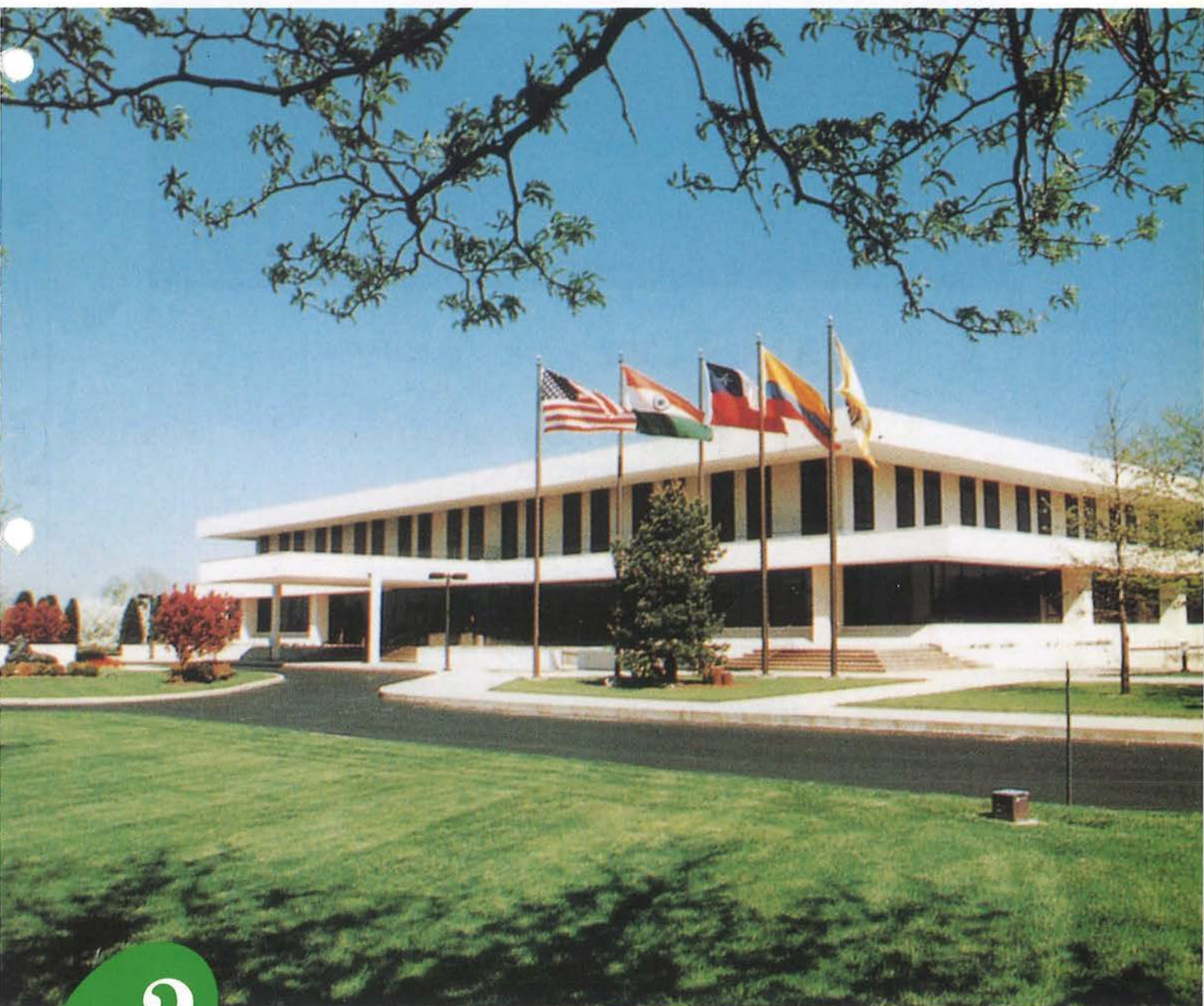


333-C地区 地区ニュース

1993年11月1日発行 (1993-1994)

**WE SERVE**

ふしあ



NO.2

特集：第1回キャビネット会議要項  
333複合地区薬害乱用防止方針



T O K Y O B A Y

HILTON



## 時を大切にする国際派のビジネスリゾート

大中小の16の会議・宴会場は、  
ご会合の目的に応じて、  
どのような設営にも対応いたします。



**東京ベイヒルトン**

〒279 千葉県浦安市舞浜1-8

**TEL.(0473)55-5000**

**THE HILTON · THE HOTEL**



# 333-C 地区ライオンズ憲章

われわれは、ライオンズクラブ草創の原点にたちかえり、  
その崇高な精神を信奉し、会員である誇りと自覚をもって、  
ライオンズ永遠の発展に寄与するため、会員の総意を結集し、  
ここに地区ライオンズ憲章を制定して、その理想実現に邁進するものである。

1. 単位クラブの尊厳と自主性を尊重しよう。
2. 奉仕の根源は愛であることを確認し、心をこめて精進しよう。
3. 友情によって相互理解と強固な団結をはかろう。
4. 組織の簡素合理化と経費の節減につとめよう。
5. グッドスタンディングとは、積極的参加の意欲であることを理解し、指導力の開発にはげよう。

## ライオンズクラブの目的

- 世界の人びとの間に相互理解の精神をつちかい発展させる。
- よい施政とよい公民の原則を高揚する。
- 地域社会の生活、文化、福祉および公德心の向上に積極的関心を示す。
- 友情、親善、相互理解のきずなによってクラブ間の融和をはかる。
- 一般に関心のあるすべての問題を自由に討論できる場を設ける。ただし、政党、宗派の問題をクラブ会員は討論してはならない。
- 奉仕の心を持つ人びとが個人の経済的報酬なしに社会に奉仕するようはげまし、また、商業、工業、専門職業、公共事業および個人事業の能率化をはかり、道徳的水準をさらに高める。

## ライオンズ道徳綱領

- 職業に対する不漸の努力が正しく賞賛されるように心がけ、自己の職業の尊さを確信すること。
- 事業を成功させて、適正な報酬や利益は受けるべきであるが、自己の立場を不当に利用したり、人に疑われる行いをして自尊心を傷つけてまでも利益や成功を求めないこと。
- 事業を遂行するにあたっては、他人の事業を妨害しないように心がけ、顧客や取引先に誠実であり、自己にも忠実であること。
- 他人に対する自己の立場や行いに疑いが生じたときは、世人の立場に立って解決にあたること。
- 真の友情は損得の上に築かれるものでなく、心と心のふれ合いによるものであることを自覚し、手段としてではなく目的として友情をもつこと。
- 国家および地域社会に対する公民の義務を忘れず、かわらぬ忠誠を言動にあらわし、すすんで時間と労力と資力をささげること。
- 不幸な人には同情を、弱い人には助力を、貧しい人には私財を惜しまないこと。
- 批評は謙虚に、賞賛は惜しみなく、建設を旨として破壊をさげること。

# 〔ふれあい〕

No. 2

## 目次

ライオンズの組織と 地区ライオンズ憲章について 333-C地区 元ガバナー 地区名誉顧問 L. 杉浦 明	5	佐倉LC・千葉京葉LSC	20
第一回キャビネット会議開催 地区ガバナー L. 松丸善次郎	6	浦安LC・行徳LC 奉仕に愛を込めて15年	21
青少年を薬物乱用から守ろう 船橋中央LC L. 林 静誠	8	浦安LC・行徳LC	22
薬害教育の徹底を 333-C地区 元ガバナー L. 寺嶋周三	8	浦安シーサイドLC・山田町LC	23
各クラブでの薬害教育プログラム	9	干潟LC	24
地区100番目のクラブ誕生 浦安中央LC会長 L. 松崎秀樹	10	YEプログラム	
地区101番目のクラブ誕生 房総勝浦LC EXT委員長 L. 野村久治	11	9カ国に親善大使を派遣 地区YE委員長 L. 石和田稔	25
LC活動レポート 浦安LC・松戸中央LC	12	ベルギー・ネブラスカ・カナダ・韓国 ケンタッキー・オーストラリア・ハンガリー インディアナポリス州	
下総中山LC・松戸LC・松戸東LC	13	中途失明撲滅を	30
柏グリーンLC・柏オークLC・富津LC	14	クラブ会報毎月発行 市川LC L. 渡辺誠之	31
船橋ポートLC・木更津金鈴LC・君津LC	15	レオクラブと奉仕 333-C地区レオ委員長 L. 塚田哲也	32
房州白浜LC・房州朝夷LC・成東LC	16	ライオンズレートについて 地区幹事 L. 川崎忠男	33
長南LC・白子LC・茂原中央LC	17	333-C地区会員分布	34
6RIZ5クラブ合同・房州白浜LC	18		
下総LC・佐倉LC	19		

題字・日展会員、栃木屋女将、鈴木アイ子

表紙写真・ライオンズクラブ国際協会本部(イリノイ州、シカゴ市)

ライオンズクラブ国際協会333-C地区 地区ニュース

ふれあい 1993年~94年 No. 2

発行・1993年11月1日 発行人・地区ガバナーL. 松丸善次郎 編集人・篠原一彦 印刷所・文陽堂印刷紙工株

発行所・ライオンズクラブ国際協会333-C地区キャビネット事務局

〒260 千葉市中央区問屋町1の55 シーオービル6F

☎043-243-2528 FAX043-247-4756



# ライオンズの組織と 地区ライオンズ憲章について



333-C地区 元地区ガバナー 地区名誉顧問

L 杉浦 明

## 1. ライオンズの組織

1. 単位クラブが集まってゾーンを作り、リジョンを作り、地区・複合地区を経て国際協会に連なる。

クラブは、国際協会を構成する極めて大切な単位である。

2. 準地区-地区内LCの融和強調を図り、ライオニズム高揚のために国際協会の基本方針に従って、各クラブの運営を円滑ならしめる。

①地区ガバナーは国際協会の役員であり、所属地区において国際協会を代表する。地区行政の最高責任者であり、キャビネット構成員を任命し、直接指導する。

3. 複合地区-複合地区内各LCの融和強調を図り、ライオニズムを高揚するため、各準地区の運営を円滑ならしめる。

①ガバナー協議会

複合地区の運営を管理し、役員を選任し、会議を開き、資金を管理運用する。

②ガバナー協議会議長

構成員（複合地区内各地区ガバナーと追加構成員）の互選で選出され、ガバナー協議会を代表する。

4. 地区年次大会

①準地区年次大会

各クラブから選出された代議員により、次期地区ガバナー及びビルテナントガバナーを選出し、その他地区運営の重要事項を審議する。

②複合地区年次大会

複合地区会則の改正、国際理事候補者の推薦や緊急

援助資金の管理などを審議する。

③国際年次大会

国際役員を選出し、会則改正その他協会運営の重要事項を審議し決定する。

## 2. 地区ライオンズ憲章

1. 1980年5月の木更津における年次大会で、千葉県は333・B地区から別れて、新たに333・C地区を単位独立させる決議が採択された。

そこで「新地区準備委員会を、前地区ガバナーのL杉浦明を委員長に、地区名誉顧問やDDGOBなどをもって構成し、新生C地区の運営の基本となるべき事項を取り決めた。

地区運営の根本議ともなるべき「地区ライオンズ憲章」を制定する必要が議せられて、委員長であるL杉浦明が起草し、準備委員会で慎重審議し成案を得た。

1982年の年次大会で決議採択された。すなわち地区内メンバーの総意により決められたものであるところに大きな意義がある。

2. 前文には、この憲章制定の意義と、ライオニズムの理想、並びにその実現に邁進する決意がこめられている。

3. 五つの条項は、簡潔明瞭に、地区及び各メンバーが常に心がけ努力すべき理想を掲げたものである。

4. この憲章の根底にあるものは、メルビン・ジョンズのクラブ草創の原点にかようなもので、自由・平等・平和・相互理解の大目標に向かって精進すべき、地区及びクラブメンバーの不断の努力を、自ら宣言したものである。さらにその究極にある哲学は<愛>である。

# 第一回キャビネット会議開催

1993年7月24日(土) 船橋市フローラ西船において開催されたライオンズクラブ国際協会333-C地区1993~1994年度第一回キャビネット会議の結果をご報告します。

なお、当日の出席者及び挨拶あるいは各委員長の報告または意見等は、概略キャビネット会議資料に掲載されている通りです。同資料をご参照ください。

1993年7月28日  
ライオンズクラブ国際協会  
333-C地区

地区ガバナー L 松丸善次郎

1. 第1号議案 キャビネット会議及び付属会議議事録規則(1993~1994)について  
別紙議案資料の通り可決された。
- 第2号議案 前年度会計決算報告ならびに承認の件
- 第3号議案 前年度会計監査報告の件  
上記2案併せて上程、別紙資料の通り承認可決された。
- 第4号議案 ガバナー提出議案
  - (1) 地区会計監査委員委嘱の件  
複合地区会則25条第4項により、下記Lに監査委員を委嘱したい。  
L 竹田 良美(習志野LC)  
L 林 義夫(旭LC)  
決議結果、提案の通り委嘱することが可決された。
  - (2) キャビネット会計の業務執行に伴う担保提供を免除する件  
決議結果、提案の通り担保提供免除が可決された。
  - (3) 青少年健全育成の重要性に鑑み、青少年育成資金については、前年度に引き続き地区メンバー1人当たり1,500円を拠出し、その運営を計りたい。  
決議結果、提案の通り拠出することが可決された。
  - (4) CSF(サイトファーストキャンペーン)の協力について

国際協会ならびに国際財団プログラムを尊重し、CSFへ協力のため、①メンバー1人当たり\$10以上の献金、ならびに②メンバー10人につき1名のMJF献金のご協力をお願いしたい。

決議結果、提案の趣旨を了承し、その実現を期して努力することが決議された。

## (5) 世界ライオンズ奉仕デーについて

10月8日の世界ライオンズ奉仕デーに際して地区内全クラブは、メンバー全員の参加による奉仕活動を行い、この日の趣旨を一層高められたい。

決議結果、提案の趣旨を了承し、その実現を期して努力することが決議された。

## (6) 旅費規定、慶弔見舞金規定を別紙資料の通り定めたい。

決議結果、提案の通り定めることが可決された。

## (7) 本年度アワード規定について別紙資料の通り定めたい。

決議結果、提案の通り定めることが可決された。

## (8) 333-C地区第40回年次大会開催について下記の通り実施したい。

日時 1994年5月1日(日)

場所 市川市 文化会館

決議結果、提案の通り実施することが可決された。

## (9) 地区緊急災害援助資金の運用委員の指名について別紙の通り指名したい。

決議結果、提案の通り指名することが可決され



た。

◎L松丸善次郎 (地区ガバナー)

- L川崎 忠男 (地区幹事、下総中山LC)
- L笹本 瞭 (地区会計、市川東LC)
- L保科 保 (1R・RC、松戸東LC)
- L蒔田 辰男 (2R・RC、習志野LC)
- L中村 勝和 (3R・RC、千葉LC)
- L古谷 淳 (4R・RC、総武中央LC)
- L鈴木 豊 (5R・RC、君津LC)
- L鈴木 俊一 (6R・RC、館山中央LC)
- L本田 輝司 (7R・RC、東金LC)
- L飯塚 信一 (8R・RC、成田LC)

(10) 地区アクティビティ資金の運営委員の指名について、下記の通り指名したい。

決議結果、提案の通り指名することが可決され

た。

※リジョン推薦委員

- L保科 保 (1R・RC、松戸東LC)
- L蒔田 辰男 (2R・RC、習志野LC)
- L中村 勝和 (3R・RC、千葉LC)
- L古谷 淳 (4R・RC、総武中央LC)
- L鈴木 豊 (5R・RC、君津LC)
- L鈴木 俊一 (6R・RC、館山中央LC)
- L本田 輝司 (7R・RC、東金LC)
- L飯塚 信一 (8R・RC、成田LC)

※特命委員

(1年委員)

- L鈴木 行正 (船橋京葉LC)
- L竹田 良美 (習志野中央LC)
- L長島 彪 (佐原LC)
- L寺嶋 周三 (柏LC)
- L平井 勇 (館山LC)

(2年委員)

- L吉田 政勝 (習志野LC)
- L小泉 昭 (船橋LC)
- L橋口 一夫 (銚子LC)
- L秋場 寛 (上総一宮LC)
- L杉浦 明 (君津LC)

(3年委員)

- L矢田 常吉 (千葉中央LC)
- L斉藤 貞雄 (船橋LC)
- L榎 智光 (千葉LC)
- L森野銀一郎 (千葉ポートLC)
- L鈴木 脩 (千葉中央LC)

(11) 1Rリジョン分割の件、分割検討委員会の設置の件

決議結果、提案の趣旨了承、分割検討委員会の任命はガバナーに一任する。

# 青少年を薬物乱用から守ろう

若者に罪悪感なく、海外留学で味覚え軽い好奇心が重いツケ



船橋中央LC

L 林 静誠

麻薬、覚醒剤、ヘロイン、シンナー等、薬物乱用は、単に乱用者自身の健康上の問題にとどまらず、殺人、放火など各種犯罪の要因となり、社会全般の問題へと発展しております。薬物乱用の弊害の深刻さは、今や世界的な問題となっており、現在、麻薬、覚醒剤の乱用者は、世界中で5千万人以上におよぶと推定されています。特にアメリカでは人口の約1割が薬物乱用者といわれ、国際的な対策強化の必要性が叫ばれております。

わが国においても、青少年の間に薬物汚染が急速に広がっております。

ある高校生は、米国へのあこがれの短期留学に出かけパーティーで友人になったばかりの米国人に「ハイな気分になるよ。飲んでみるよ」と言われ、軽い好奇心が、とんでもないことに発展していくケースが非常に多くなってきております。

最近、角川書店前社長のコカインの密輸容疑で大問題が起きておりますが、六本木族といわれる、いわゆる先端人間だと自負する人たちは、麻薬をファッションのように考え、これに憧れる若者たちがディスコなどで勧められるケースなど、罪悪感が全くないままに常習者になってしまう。

4年前、私は、地区薬害教育委員長の時、近い将来日本は薬物乱用の問題がライオンズクラブが取り組む最重点課題になると申し上げ、寺嶋ガバナーもよく理解され、青少年を薬物乱用から守る「薬物乱用根絶」を呼びかけました。

各ライオンは麻薬等の恐ろしさは十分理解されていると存じますので、各クラブで次のようなプログラムを実施していただきたいと思っております。

## 薬害教育の徹底を



ライオンズクラブ国際協会

333-C地区元ガバナー

L 寺嶋周三

コロンビアにおける「麻薬戦争」は、私たち日本人には、とうてい考えられないほどの激しいもので、アメリカ南北大陸の薬害の深刻さ、恐ろしさをはっきりと示しております。アメリカでも青少年の覚醒剤などによる薬害は拡大する一方ですが、ライオンズクラブ国際協会は「ライオンズ・クエスト・プログラム」によって青少年を指導、300万人から400万人を更生させ、大きな効果を上げているとのことでした。

日本では、アメリカほどではありませんが、シンナーなどによる薬害が、中学生を中心に目立たない形で蔓延しつつあります。私も、柏市の「第2地区青少年健全育成推進協議会」の会長を6年間努めました。シンナー



# 各クラブでの薬害教育プログラム



- 1 各ライオンズクラブで薬害についての理解を深める。  
(資料の収集は下記機関に相談)  
◆地元警察署防犯課  
◆県薬務課  
◆地元保健課  
◆財団法人「麻薬・覚せい剤乱用防止センター」  
TEL 03 (3581) 7463~7
- 2 地域で薬害についての映画上映。  
フィルムは上記機関で借用できます。
- 3 各地域の警察署、保健所等、関係機関と連携する。
- 4 地元関係団体等と懇談会を開催する。  
例：町会、自治体、PTA、青少年相談員、少年補導員、民生委員、各種青少年団体など。
- 5 パンフレットを作成、及び配布する。
- 6 麻薬、覚せい剤撲滅運動月間（10月、11月）へ取り組む。
- 7 街頭キャンペーンを実施する。
- 8 シンナーなどの覚せい剤乱用者の収容施設を、国や県に陳情する。

による薬害が絶えず問題として取り上げられておりました。

ある母子家庭では、女子中学生が中心となって仲間を家に引き入れ、シンナーを吸い、ビールを飲んで乱交騒ぎ。母親は、その間、家を追い出されて入ることもできません。補導員や学校、ときには警察も加わって、何とかシンナー薬害から解放しようとしたのですが、一時的な効果を上げるだけで、すぐに元へ戻ってしまいます。

「中心女子生徒などを施設に入れていただけないだろうか」とお願いしても、「満員で、どうしようもない」とのことでした。シンナー常習者を収容しようとしても、数が多過ぎるので、とうてい不可能なわけです。従って収

容施設を増やし、早期のうちに患者を直すことが必要である、と痛感しております。

日本の薬害は、5年か10年後にアメリカ並みになるかもしれない、という方もおります。そうなる前に、各種薬害、特に現在ではシンナーなどの恐ろしさを、青少年に十分ご理解をいただきたいと、薬害教育に詳しい林静誠地区委員が積極的に活動を始めました。

このパンフレットが、薬害教育の徹底のために、少しでもお役にたてばと願っております。ご活用いただければ、誠に幸いに存じます。

# 地区100番目のクラブ誕生!!

## 浦安中央ライオンズクラブ結成式を終えて

浦安中央LC会長  
L松崎秀樹

去る7月25日に、千葉県下100番目のクラブとして、スポンサークラブである浦安ライオンズクラブのご指導のもとで、多くのブラザークラブの皆さまにもご出席を頂いて、おかげさまで無事結成式を終えることができました。まずは一つ目の山は越えたと胸をなで下ろしているところですが、初年度の最も大きなイベントでもあります11月14日のチャーターナイトを何としても成功裡に終わらせるべく、平野CN委員長を先頭に一丸となって

頑張っているところです。

結成初年度ということもあって、まだライオンズクラブそのものが理解していないメンバーが多くいるわけですが、一日も早く「We Serve」の精神を理解して、地域に貢献できるクラブとして認知されるよう、また、若いクラブという特長を生かして「汗を流す奉仕」を心掛けていきたいと思っております。



# 地区101番目のクラブ誕生!!

## 夷隅ライオンズクラブ結成式

房総勝浦ライオンズクラブ  
エクステンション委員長

L野村久治

房総勝浦クラブ会長斎藤Lより大多喜町と夷隅町を地域としたライオンズクラブを作りたいのだが、勝浦ライオンズクラブにスポンサーして欲しいとの話しが大多喜町の有志からあった。どうしたら良いのか相談を受けたのが四年十一月初旬でした。十数年前に大多喜町と大原町にライオンズクラブを作るべく働き掛けが実現しなかった事を話し、エクステンションすることは最大のアクトであり、理事会に図り、然るべく対処するように話した。話しの様子からすると、秋葉名誉顧問のアドバイスがあったようです。私も理事会に於いてエクステンションについて話すべく、十一月十一日(1992)キャビネット事務局に電話をかけた。

エクステンションについての資料を送って頂き、目を通してエクステンションすることの大変なことを感じながら、十一月二十四日の理事会に於いてエクステンション委員会を設置し、委員長を私が引き受けることになってしまったのです。明けて平成五年一月二十九日養老溪谷での第一回目の説明会に、八名のキーメンバーの人達に対し、基本的な説明をした。あと二十五名の最少の人数を入会させるべく依頼して解散。帰りの車の中で同行の土屋Lとどのように感じたか、意見を交わしながら次

回二十五名参集を期待して帰宅。二回目の説明会四月九日、3回目六月十四日、4回目七月二十三日、5回目八月六日、6回目九月三日。この間キーメンバーの人達に三回勝浦LCの例会にビジターとして出席して頂きました。然し二十三名になったり二十名に欠けたり、一時は結成してスポンサークラブ共々苦勞するなら無かった事にしたほうが良いのではとも思ったが、八月六日の説明会に新三役の幹事金子Lが同席してくれたのを機に、スポンサークラブに成ってくれるように頼まれ、エクステンション委員会まで設置したのに「私がR・Cの時にリジョン会議の挨拶のなかで、戦時事第一回神風特攻隊が失敗に終わり、誰一人知ることなく葬りさられたことを話した」が、キーメンバーの今までの努力を思うと、何とかしなければと思い直し、矢田ガバナーのアドバイスを受けて結成に踏み切ったのです。それ以後日本駐在員の堀越さんに連絡をとり、結成に必要な提出書類等を聞きながら、松丸ガバナーの日程に合わせて九月二十三日に結成会、結成式を無事終了することが出来た。これも偏に関係者はもとより、皆さんのご支援の賜と深く感謝いたします。





## 浦安LC

会長 L亀井 松夫  
実行委員長 L醍醐善三郎

## 第12回チャリティーゴルフ

浦安ライオンズクラブ年間の最も大きい事業資金の獲得として、チャリティーゴルフは会を重ねて12回目を去る9月6日に姉ヶ崎カントリークラブにおいて実施致しました。

当日は、浦安市民他近隣の方々も参加されて、約400名のゴルファーが早朝よりプレーを楽しみました。

浦安LCのメンバー52名も、浦安を午前5時半に出発し、クラブハウスには6時半に到着、直ちにいろいろな準備に取りかかり、プレーの進行に万全を期したのであります。おかげさまで天候にも恵まれて無事終了しましたが、多くの一般の方々も参加することにより、社会奉仕に間接的に参加できたことになり、誠にその意義は大きなものがあると思われます。ライオンズ精神の高揚とメンバー一同の団結心に大きな役割を果たしていることは、特筆に値するものと自負しております。

市内の企業、会社をはじめ、メンバーの皆さまから大変なご寄付を頂戴して、このチャリティーゴルフが盛大に挙行することができましたことを、厚くお礼申し上げます。

これからも、一般市民へのPRと、参加して頂けるようなアクティビティーを考えていくことを念頭におく必要があると存じております。



## 松戸中央LC

8月9日 クラブメンバーによる、さつまいものつる返し、草取り。

(10月24日・日曜日 身障者招待いも掘り大会のための農作業)



## 下総中山LC

会 長 L松丸征勝  
PR情報委員長 L石井 茂

# わんぱく相撲大会

青少年育成委員会による当クラブのメインアクト『わんぱく相撲大会』が、7月27日に250名余りの出場者と観客、併せて400名余りが集まり、盛大に挙行されました。

「健全なる精神は健全なる身体に宿る」との格言の通り、体力の向上、ふれあいの場として子供たちの思い出に有意義な一日でした。

このアクトは本年度で16回を数え、将来も趣向をこらして継続していく考えです。一回生はずでに社会人として活躍され、懐かしい思い出と語っております。

表記写真の元気な姿をいつまでも……。



## 松戸LC

環境保全委員長 L天野勝巳

# 第3回ファミリー映画会

今年も松戸信用金庫さんと我がクラブの主催で、親子映画会「カッパの三平」を企画致しました。

これは、水木しげる先生の原作を映画化したもので、カッパと人間とのユーモラスな交流を通して、現代社会の大きなテーマでもある環境の問題を多くの人たちにアピールして作られた映画です。

人は昔から自然の中に息づく人以外の存在にいろいろなことを教わり、守られてきました。今度は、私たちが守る番だと思えます。

## 松戸東LC

# 八海山キャンプフェスティバル開催

本年度ホテル観賞会とともに新しい目玉のACTである青少年健全育成を目的とした、八海山キャンプを7月24日から二泊三日で新潟県六日町五十沢キャンプ場で開催した。

公募先着46名の小中学生が、天幕生活、野外食事、キャンプファイヤー、ハイキング、溪流遊び等を通じ、自然の中での生活を楽しんだ。初対面の友達と仲良くなり、天幕の構築、撤収という仕事、雨との戦いに規律と協調を学ぶという貴重な体験をした。

このキャンプには、姉妹提携をしている六日町ライオンズクラブに多大のお世話を頂いた。参加したメンバーは汗みどろの、そして濡れネズミの活躍をして、会長スローガン「いい汗かいて爽やかライオンズ」の実践を果たした。



## 柏グリーンLC

### 市立柏病院にマキの木を贈る

7月4日にオープンした市立柏病院（柏市布施・国立病院あと）の開院を記念し、当クラブから県の木に指定されているマキの木を寄贈することになり、病院の正面玄関前中央に樹齢約80年、高さ10メートル余、直径30センチの堂々たるマキの木が植樹された。

当日は、山田院長をはじめ、柏市役所関係者など多数出席のもと「柏市民が、このマキの木のように勢いよく元気で暮らせること」を祈願しながら、皆一回ずつスコップで土をかけ、無事クワ入れ式が終了した。今後、病院を訪れる人の目を楽しませ、入院患者さんたちの慰めと心の支えになることであろう。

なお、7月14日、柏市役所市長室において、市長より植樹への感謝状が贈られることになり、大畑会長はじめL、櫻田、L、三好、L、野口、L、渡辺、L、大沢、L、大池の7名が出席し、柏市長より感謝状を授受し謝辞を頂いた。



## 柏オークLC

### 献血と献腎キャンペーン

柏オークLCでは、CN10周年記念事業の一貫として「愛と光の健康の贈り物」と題しまして、献眼・献腎キャンペーンを行っております。

この日、8月1日は、献血運動と合わせまして、大々的にキャンペーンを行いました。天候にも恵まれ、柏市民の皆さま方より温かい励ましのお言葉もたくさん頂きました。

成果も上々で、56名の登録を頂くことができました。特に、若い方々の献眼・献腎に対する理解の深さには、主催者として誠にうれしく、頼もしい限りでございました。

継続事業として、このキャンペーンを実施していき、一人でも多く登録者が増えますよう頑張っていきたいと思っております。



キャンプ場パトロール



納涼例会



## 富津LC

藤江情報委員

### 地区YEサマーキャンプ

8月6日 富津岬荘



## 船橋ポートLC

会長 L高村昇一

### 船橋馬込斎場に車椅子を寄贈

7月7日、船橋馬込斎場に車椅子2台寄贈しました。これは、下川ライオンのご母堂が逝去された際のお香典のお返しをドネーションして頂き、何か有意義に使えるものはないかとの相談の結果、斎場を訪れるお年寄りや、身体の不自由な方々が困っておられることを聞き、自由に使って頂ける車椅子を寄贈することになったものです。

当日は、船橋市長公室にて、大橋和夫市長、4市合同事務局長杉山氏に来て頂き、お渡し致しました。その後馬込斎場から、皆さまに大変喜んで頂いているとの、お



電話がありました。

また、これを機会に新聞や広報で、不要になった車椅子の寄贈を呼びかけ、福祉施設や公共施設に贈るほか、必要な方々に貸出しできるよう準備しております。

## 木更津金鈴LC

木更津金鈴ライオンズクラブでは、三村和弘会長の本年度方針に基づき、当クラブ視力ファースト委員長L鬼頭薫が会長の意志を受け、CSF地区コーディネーターL楠岡巖をお招きし、8月11日、第一例会において卓話をお願いしました。

5R、RC、L鈴木豊、L佐久間朗、L鈴木重一両コーディネーター他、5R地区役員のご出席を頂き「視力ファーストに対する知識」を高め、各会員のご理解を深めようと、L楠岡巖のバイタリティーに満ちた、ユーモア溢れるお話に、例会場はしばしば爆笑が渦巻き、笑顔に包まれるようなひとときを過ごしました。

昨年、チャーターナイト25周年に14名のCSF会員を



記録しました。L鬼頭が委員長として2年目。本年度も努力と各会員の協力で、昨年を上回る18名を記録しました。卓話の後でL鬼頭よりL楠岡に18名分の目録が手渡され、RC、L鈴木豊から感謝とお誉めの言葉を頂き、和やかなうちに会長ゴングで夏の一夜を惜しみながら幕となりました。

## 君津LC

LS 松本笑子

### シンガポールの旅

7月23～27日、ライオネスクラブ有志による魅惑のシンガポール5日間のツアーへ参加しました。

日本とわずか1時間マイナスの時差なので、あまり疲れことなく深夜のホテルに着きました。

一夜明けたホテルの窓から見渡す風景は、神秘的なマーライオン像と、青葉が日に輝いてとても美しく、町全体が雄大な公園の様子。その中に高層ビルが整然と立ち並び、何か日本とは正反対の印象を受けました。また、マナーに関する法律の厳しさもあり、ゴミやタバコの吸い殻もなく、とても清潔感あふれる町とも見受けられました。

日中の平均気温が約30度、夜間は約24度と、常夏の地で、年間を通じてお花が咲いているそうです。寒さに弱

い私にとって憧れの国でもあります。若くてとても日本語の上手なガイド（男性）さんの案内で、ゆっくり楽しく観光することができました。

その中のひとつ、マンダイ蘭園を挙げたいと思います。きれいに刈り込まれた芝生の上に咲く100種類以上の様々な色や形の花、その華やかさに、シャッターを切るのも忘れ、ただただ、ため息をもらすばかりでした。

自由行動では、何回か訪れたことのあるLS正木の案内で気ままに観光し、またショッピングにと、楽しい時間を過ごすことができたことは、私にとって生涯忘れることのない思い出となりました。



マンダイ蘭園にて

房州白浜LC 会長 L吉田英一

## 海女まつり後に夜間パトロール!

平成5年7月20日「白浜町海女まつり」の終了後、夜8時30分から10時30分まで「青少年非行化防止」の一環として灯台入口のロータリー付近と海岸をパトロール致しました。クラブ員の参加は18名。

(18名×27=36H) 金銭ACT (10,000円拠出)



房州朝夷LC 会長 L相川常義

## 二町の町民へ楽しい音楽を!

今年もクラブ継続事業として、東京練馬の陸上自衛隊第1音楽隊(皇太子殿下・雅子さまのご成婚パレードに参加)を招致。

納涼音楽祭として、7月19日に千倉町、20日に和田町と二町の老若男女を集めて、サンダーバード、服部良一メドレー、サッカーオフィシャル応援歌などを生演奏。他に地元のコーラスグループ、学生の合唱、ブラバンなど多彩な音楽の祭典となった。おりしも、フィンランドよりYE交換学生を招き、フィンランド国歌を演奏、とても印象的であった。また、楽しさに加えブラバンへのご指導も頂き、喜ばれた。

クラブ員は常に裏方に徹し、きめ細かい手伝いができた。延べ労力ACT72人、206.5Hの奉仕。金銭ACTは451,507円を拠出した。



成東LC L本田仁一

## 第10回山武少年柔道大会

2月21日、成東ライオンズクラブ主催による第10回山武少年柔道大会を行いました。

講道館より、岩沢、秋元両参段を招き、投の形の技を教えて頂きました。また、総勢60名余の若き精鋭たちが日頃鍛えた技と血潮を燃やし、闘いました。



## 長南LC

### 献血について

6月29日に、長南町役場において献血を実施致しました。76名の方が協力してくださいました。車外には常時2～4名の方が待機し、終了時間を30分ほど延長する状況でした。

なお、採血量は18,000CC最高でした。



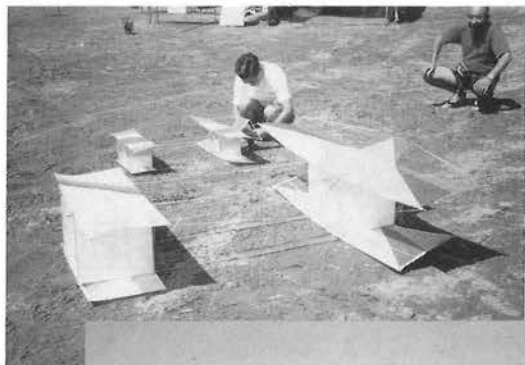
## 白子LC

### 親子凧揚げ大会を開催

夏休み最後の日曜日、白子町白潟地区で昔から伝えられている白子立体凧揚げを、町内の3小学校高学年15チームの親子を選び、荊金海岸において盛大に開催致しました。

当日は、本田RC、小高ZC等を招き、青空いっぱい凧を揚げ、海水浴に来ていた人たちも初めて見る立体凧に感激しておりました。昼にはバーベキュー、焼きソバ、かき氷と模擬店を出し、賑やかに一日を過ごしました。

また、当日は日本凧の会会員も訪れ、連凧や上総凧等揚げて頂き、大会を盛り上げてくださいました。



## 茂原中央LC

### 視力ファーストキャンペーンとバザー

6月13日(日)、茂原市郊外に位置する「ひめはるの里」の花菖蒲祭の期間中に、視力ファーストキャンペーンのバザーを行った。

4,000人を越える花菖蒲の見学者の中、クラブ会員とその家族36名の奉仕のもとで、バザー品数100点、焼きソバ、フランクフルト、かき氷、わた菓子などの出店を行い、当日の天気にも恵まれて、大きな成果を上げることができた。

収益金の350,800円は、すべて視力ファーストに献金することになった。





## 6 R 1 Z 「5クラブ合同A C T 献血」

平成5年9月17日、今年度2回目の5クラブ合同A C Tとして「献血事業」に奉仕した。

1 Z C L 黒川浩の呼びかけで、天気良好のもとに、館山駅前広場にて行った。各クラブから数人の手伝いを得て終了した。

館山LC	/20,400CC
鋸南LC	/400CC
館山南LC	/18,400CC
館山北LC	/4,000CC
館山中央LC	/16,000CC
合計	59,200CC



### 房州白浜LC

## ギャッチベッドを贈呈

平成5年9月15日

当クラブは、これまで福祉活動として、老人在宅の家を訪問して、タオルや敷布などを贈呈していたが、今年度は要望により写真の通り、寝たきり老人用にとエアを手動で入れる「ギャッチベッド」を二台贈呈した。

(二台分で¥70,000-)

贈呈は、白浜町町舎の町長室にて、町長と小谷福祉事務局長立ち会いの上、吉田会長から贈られた。長生きの老人天国「白浜」へ奉仕。



## 下総LC

# 利根川河川敷美化運動に労力奉仕

今年の梅雨明けも、もたついていたが、去る7月25日（日）建設省利根川下流工事事務所ならびに河川愛護協会提唱の利根川河川敷美化運動に協力した。

午前7時から同8時30分まで、幸い朝のうちは雨も降らず、ホームメンバー35名が協力、河川敷内の空カン、ゴミ拾い、清掃を行った。なかには、投げ捨ての自転車などもあり、空カンなど、大きいビニール袋に20袋収集する。

クラブ結成後、初めての労力奉仕で、地域住民ともども行い、クラブの存在のPRにもなった。

今後も、各機関の呼びかけに協力することとしたい。



## 佐倉LC

# 8月28日 環境保全参加22名

吉岡地区 栗山地区

トラック3台分    トラック4台分

大型ゴミ    三年前のゴミ

最後ドロドロの大作業でした。

二時間後にはきれいな道に戻りました。



# 9月4日 社会福祉 特別養護老人ホーム訪問

敬老の日 一足早い訪問を行いました

特別養護老人ホーム 旭園

特別養護老人ホーム あすみの丘

特別養護四街道老人ホーム

各老人ホームにナシ    6箱    合計18箱

リンゴ    3箱    合計9箱

バナナ    3箱    合計9箱

絵入りハガキ    300枚

ザ・カルシウム    600枚

以上、施設を訪問、差し入れを行いました。

写真は代表に果物を手渡す



## 佐倉LC



上左：8月7日 京成・白井駅前献血協力  
 上右：7月30日 YE生（カナダ）スーザン・ユーさん  
 佐倉市長を表敬訪問。  
 バーナビー市長よりメッセージ贈呈。  
 右：8月3日 YE生（バレーが得意）佐倉東高等学  
 校（女子校）バレー部と交歓会。  
 佐倉東高等学校の女子が喜んだ。



## 千葉京葉LSC 会長 波木泰美(睦改め)

### かきつばた いずれがあやめか杜若...

いずれがあやめか杜若と申しますと首を傾げるLもおいででしょうが、わが街千葉市には女性だけの奉仕団体が二つあります。ともども15年から17年前に結成され、以来、着実に社会奉仕に邁進しております。

まず、あやめでございますが、その名を国際ソロプチミスト千葉（IS千葉）と申しまして、文字通り世界中多方面にACTをし、地元においては留学生の奨学金制度を設け、国際交流を通して若い人たちを応援しようとご活躍中です。

では「杜若はいかに？」と問われれば、答はもちろん千葉京葉LSCでございます。私どももIS千葉同様、毎年春にチャリティーパーティーを開催し、約550名様のご協力を頂いております。心より感謝して地域奉仕活動を展開しております。

ところが、この15年間に両クラブの名のもとに一度も交流がありません。兼ねてより親しく交歓したいと願っておりましたが、とうとう今年9月一堂に会しました。画期的な出来事といえましょう。なぜならば、組織の異なる団体は一般的には相容れないことが多いからです。

両クラブは、長い年月をかけて活動したさまざまなACTの状況を交換し合い、今後若い人々の入会に務め、さらに地域のより多くの方に、私たちの奉仕活動を理解して頂こうと心を新たに致しました。

なんと申しましても嬉しいことは、将来合同ACTもあり得ると双方が予感し合えたことでしょう。そして、私たち女性が、行政の為すべき社会福祉を見極めながら支援をしていく団体の一角に位置すると確信したことでありましょ。





## 浦安LC

# 納涼大会

8月8日、東京ベイ・第一ホテルにおいて納涼大会を行いました。

6時30分、定刻に例会が始まり、亀井会長より北海道南西沖地震の募金活動の報告がありました。

この募金活動は8月6日に行い、1,365,286円集まり早速浦安市を通じて被災地へ贈られたことの報告を主とした挨拶のあと納涼会に入り、古河前会長の乾杯に続きアトラクションのナツメロバンド演奏を聞きました。曲に合わせて、ツイストやジルバを踊る家族もあり、大変に盛り上がりました。

## 行徳LC

# 奉仕に愛を込めて15年

爽秋の9月23日、行徳ライオンズクラブ15周年記念式典が、浦安市の東京ベイ・ホテル東急で挙行政され、地区ガバナー松丸善次郎Lはじめ、高橋国雄市川市長、熊川好生浦安市長、他多数のご来賓、及び県下ブラザーライオンズクラブ、ならびに遠路台湾台北・金沢市の姉妹クラブ、市川市各種団体の皆さま等500名余のご臨席を賜りました。

行徳ライオンズクラブは、地域の青少年健全育成の助成や献血運動、街の清掃と環境美化、各被災地への義援金募金など、多くの奉仕活動を展開してまいりました。なかでも特筆すべきは献血運動で、この10年間に献血者1万5,108人、採血量313万200ミリリットルという大きな成果を上げました。それらの地域に密着した地道な努力を称える祝辞が大勢の来賓から贈られました。

高橋市長は「ロシアの少年が日本で手術を行うとき、いち早く寄付を申し出てくれました。世界へ目を向けた奉仕をするのも大切だと思う。地域から国内へ、そして世界へと、国際社会づくりに邁進し、さらに発展してください」と祝辞。その他多くの来賓の方々に15年間の功績を称える温かい言葉を頂戴しました。

続いて京都忠之会長から地元の角親会や日赤奉仕団ほか、各団体と歴代会長らに感謝状と記念品が贈呈され、最後に奥尻島への義援金など7種の記念事業を発表しました。

また、記念事業の一貫として、秋の交通安全運動を前にした16日、新行徳橋料金所跡地両側約100メートルに山茶花や椿、金木犀など、四季折々に花の咲く樹木を植樹。料金所の廃止に伴い見通しが良くなったために、ス



そのあと第二部のラッキーカード抽選発表では、当選者から歓声が上がったりして、楽しい納涼例会を過ごすことができました。



ピードの出し過ぎが多くなり、また、それが原因と見られる事故も何件か発生。ドライバーに注意を訴える意味から緑地帯の中央部に朱色の文字で「ついちょっとゆるむ心にシートベルト」と書かれた、高さ5メートル、幅80センチの三角柱の標語塔を設置致しました。

## 北海道南西沖地震に義援金

### 浦安LC

7月12日に北海道南西沖にて発生致しました地震により、津波やその後の火災と、多くの人命を奪う大災害が発生致しました。

日を追うにしたがって現地の惨状が明らかになり、少しでもお役に立てることはないかと思案しておりましたところ、I Z川上ゾーンチェアマンの呼びかけで、コルトンプラザにおける街頭募金に参加する機会がありました。

そのとき、幼い兄弟が小さな手で募金箱に寄付金を入れてくれる姿に感動し、ぜひ浦安でも市民の皆さまに呼びかけて義捐金を募ろうではないかということになった次第です。

募金箱も看板もメンバーの手作りで、午前10:00から午後8:00まで、東西線浦安駅前と京葉線新浦安駅前の2か所において、街頭募金を実施致しました。多くの方々のご賛同を頂き、集まった浄財は、合計1,365,286円でした。メンバーからの510,000円も合わせて、被災地の一日も早い復興を祈りながら送金致しました。

手作り、手弁当の、このアクティビティーが、メンバーの結束をより強固なものにしたとの確信を致しました。そして、市民の皆さまとのふれあいが一番大きな収穫だったのではないかと思う次第です。



### 行徳LC 会長 京都忠之

行徳ライオンズクラブは、川上ゾーンチェアマンの提唱による北海道南西沖地震災害の街頭における募金活動を二回行いました。

当日、結婚祝金の一部を募金された方、お子さま連れのお母さん、通勤・通学の方々、銀行より預金をおろして募金された方、同じ災害に遭われた方等、多くの方にご協力を戴きましたことを、心より深くお礼申し上げます。130万円という募金金額は、市川市長を通じ、奥尻町へ送金させて戴きました。

ライオンズクラブとして奉仕の原点である「ウイ・サーブ」の一助を担うことができたことに誇りを持つとともに、今後とも地域の皆さまとともに今後とも地域の皆さまとともに歩むライオンズを目指し頑張る所存であります。



## 第1回献血ACT

当クラブは会員の協力により、10月3日(日)午前10時～午後5時まで、JR京葉線新浦安駅前にて、初の献血ACTを開催致しました。

委員会を中心に当日担当メンバー15名が、ユニフォーム、ライオンズ帽を着用し市民に呼びかけました。受付78名中68名の方々から献血をいただき、お礼として、ダイエーの協賛で卵パックのサービスがありました。

今後毎月第一日曜日に継続して行います。



## 山田町LC

### 町敬老祝賀会に参加して

わか町では、例年通り、9月15日に町主催敬老祝賀会が催された。今年も公民館大ホールで80歳以上の高齢者513名を対象に実施された。当日の出席者は160名と少なかったが“元気なお年寄り”たちは、その日を楽しみに待っているのである。この奉仕はわがクラブの年間の最大行事のひとつである。

この日のためにレデイスを中心に約1か月前より出演の芸の練習を始める。レデイスクラブはPR情報委員会に所属し今日の奉仕の主役である。

当日は、L23名、レディ22名、計45名が参加され会場に8時半集合する。奉仕内容は招待者を一人ひとり会場に案内、湯茶のサービス、昼食のお世話、舞台での演劇披露等と、大忙しの日である。わがレデイスクラブのピンクの制服は広い会場に点々と花開き、真の愛情に満ちた奉仕ぶりは目を見張るものがあり、また舞台では婦人会と共演して、日頃の練習の成果を遺憾なく発揮され会場から熱烈な拍手が送られた。L・レディともにお年寄りに深い愛情を持って接したこの日の奉仕活動に参列者と町民より感謝とねぎらいの言葉で飾られた一日であった。





## 干潟LC

### 干潟LC会報を発刊 地域の皆さんへ「ライオンズクラブ」をPR

私共のクラブでは、結成以来18年、各々の年度の役員一同が常に創意工夫を凝らして、地域の方々と密着した種々のACTを実施して参りましたが、住民の皆様にもっと「ライオンズクラブの活動」を知って戴くため、今年度より全町2千戸の皆様に対し年間発行4部の方針で、掲載の如く「友情」を作成、その第一号を区長様方の御

理解と共に絶大な御協力を頂戴し、それぞれの担当地区で一戸一戸配布して戴きました。内容には所謂ライオンズ用語を極力使用しないようにし、尚メンバーの屋号と職業を付して隣人感をもって皆さんに理解して戴けるよう致しました。それに伴い今後のクラブACTを住民の御協力を得ながら更に活発にして行く所存です。

(1) 平成5年9月15日発行

友 情

第 1 号



愛と知性で まごころ奉仕

# 友 情

333-C地区第4R第3Z 干潟ライオンズクラブPR情報委員会 題字 L. 杉崎 久

発行通巻 No. 1 号

発行 干潟ライオンズクラブ  
 会長 菅谷 功  
 事務局 干潟町万歳873  
 花香 勝久  
 ☎0479-68-2125 FAX4565  
 印刷 小見川町 (南菅谷印刷  
 例会日 第一, 第三水曜日  
 場 所 干潟町中央公民館2F

中央菅谷 功氏、右石毛 泰之亮氏、左花香勝久氏



会長 菅谷 功  
 伝統と歴史ある干潟ライオンズクラブ第十八代会長と云う大役を引き受け、責任の重大さは身の引き締まる思いです。メンバー各位の御指導と御協力を得ながら精一杯努め、その職責を果たしたいと思っております。  
 地区ガバナー(県連会長) 方針「愛と知性でまごころ奉仕」を基本理念とし、各委員長を中心に委員会活動を活発にし、目的達成のために頑張ります。

## あいさつ

### 第十八菅谷丸 順風万帆のスタート

去る六月三十日、第十七代会長高木利治氏が任期満了に伴い七月よりクラブきつての超異面目人間の菅谷 功氏が会長に、幹事にユニークな創造力が定評の花巻勝久氏、会計に永い間の勤めで培った几帳面な能力を誇る石毛泰之亮氏が就任し、今期から地区役員の経験をもつ岩岡由和氏が事務局員として応援に加わり順風万帆の第十八菅谷丸のスタートを切られた。本年度はどのような運営が展開されるか楽しみである。

平成5年9月15日発行

友 情

第 1 号 (2)



小学校の体育教材からソフトボールの名前が消えてから十年余、代わるサツ

## ライオンズ盃争奪少年少女球技大会開く

〈中央小WV飾る〉

去る八月八日(日)町内三小に集合。恒例の「干潟中グランドついで球技大会」が開催された。例年ない冷夏、長雨の間をぬけて開かれたこの大会、プロ顔負けのユニホーム姿も盛りだく見。空には先日九州地方を襲ったとみられる不気味な雲が流れる。選手宣誓もとき勝利、でも無事大役を果たし、ホッと一息、微笑を浮かべた。

開会式終了後、男子ソフトボールは、干潟中グランドで、女子ミニバスケットボールは、中央小体育館に会場を移し、三校トーナメント方式で、熱戦が展開された。この大会は、青少年の健全育成と親睦を目的に、毎年夏期に開催され、ライオンズ盃争奪と続いて開催される。

香取地方大会の出場選手を兼ねて実施されているものである。

小学校の体育教材からソフトボールの名前が消えてから十年余、代わるサツ

で校庭が使用出来ない西小チーム、来ない他の二校チームの出は、少々戸惑いが感じられた。そんな中であって、中央小チームは、選手一人ひとりが、稍々頭角を表していた。打球、捕球、投球、そして走塁と、一日の長さが目覚められる。他チームの追従を許さなかつた。戦績は次の通り。

(男子ソフトボールの部)  
 優勝 中央小チーム  
 準優勝 東小チーム  
 (女子ミニバスケットボールの部)  
 優勝 中央小チーム  
 準優勝 西小チーム  
 (観戦記 古橋謙寿)



カー熱に追われ細々と息をつくの投球の技も今一つ。でも後逸したボールを追う真剣な姿には胸を打たれる。

## 9か国に親善大使を派遣

地区YE委員長  
L石和田 稔

夏期YE派遣生の壮行会は、7月4日千葉ペリエホールにおいて、派遣生28名、クラブ関係者、地区役員の総勢90名が集い、盛大に行われました。

今年の派遣国は、アメリカ、カナダ、ハンガリー、フランス、ベルギー、オーストラリア、ニュージーランド、台湾、韓国の9か国におよび、派遣生がそれぞれの国へ親善大使として、ライオンズを通し、国際理解と親善を促進するため外国の習慣や生活様式を学ぶという目的があります。若者たちの限りないエネルギーとユニークなチャレンジ精神は、将来国際社会において、必ずや生活、文化、福祉等における公德心の向上に積極的関心を示すことでしょう。

また、夏期来日生は7月3日から31日までの期間に亘り、ブラジル、カナダ、アメリカ、イタリア、フィンラ

ンド、ポーランド、ハンガリー、トルコ、台湾、韓国の各国から14名が20日から40日間、各ホスト家庭で日常生活を体験しました。地区YE委員会主催のサマーキャンプは8月3日から3日間、富津市の岬荘において開催しました。

YE事業のひとつに「青少年たちに外国の若人と親しく接する機会を与える」という項目があります。これらサマーキャンプを通しての実践は、現在世界各国で起きているさまざまな民族紛争の解決のためにも、将来これらの若者が国の中堅層になったとき、真に国際平和に寄与できるものと信じてやみません。

相互理解の精神のもとYEプログラムの推進のため、YE事業へのご理解とご支援をお願い申し上げます。



## ベルギー

1 R 2 Z 野田LC派遣生 大内篤志

自分は7月19日から8月29日までベルギーに行かせてもらいました。

最初の家族は服屋を経営していて、毎日のようにお店の手伝いをしていました。手伝いといっても、お店に来るお客さんにはフランス語で挨拶ぐらいしかできませんでしたが、一緒に買い物に来る子どもたちとは、日本人という珍しさもあってか、みんな集まってくれて、とても仲良く遊んだりできて良かったです。お店が休みのときはいろいろなところに車で連れて行ってもらい、本当のベルギーの素晴らしいところを見れたので良かったです。

最後の家族では、ちょうど全員が夏休みだったらしくフランスの地中海の近くに二週間ほど連れて行ってもらいました。リゾートホテルのようなところに泊まり、毎日40℃にもなる暑さで、裸でいろいろなところを廻ったり、プールに入ったり、自転車で山の中を走り回ったりで、毎日がとても楽しかったです。

一番うれしかったのは、そこで友達がたくさんできたことです。本当に日本の友達と遊んでいるのと何ら変わらなく楽しく遊べたし、そのうちの5人とは文通の約束もしてきました。

日本を離れて分かったことは、日本の車や電気製品はとてもすごいのだなあと思いました。どこの電気屋に行っても日本の製品が多く並んでいました。世界中から少しは輸入をしろと非難されるのも実感できました。

それに反し、文化に歴史のある国の人は心に大きな余裕がありました。日本人の心の小ささを感じました。

こんなただの旅行では出来ないいろいろな経験をさせてもらい大変うれしく思いました。ライオンズクラブの皆さん、本当にありがとうございました。



## ネブラスカ

4 R 3 Z 旭LC派遣生 須藤真希

このたび、私はライオンズクラブの留学生として、アメリカのネブラスカ州に40日間ホームステイすることができました。

このホームステイは、いろいろな方のおかげで実現したことなので、とても感謝しています。

何回かのオリエンテーションを重ねて、いろんなことも教わりました。そして当日（7月18日）の前夜なんてドキドキしてしまって、なかなか寝つけませんでした。トランクの中には40日間過ごすためのものや、ホストへのプレゼントやおみやげなど…つめこんで



ありました。楽しみな分だけ不安もそれ以上。でも、家を40日間も離れることに対しては、あまりまだ実感がないせいなのか、悲しいとか寂しいとかは特にありませんでした。

当日の日もふつうに起きて、何ごともなく出発することができました。空港で日本食を家族みんなで食べました。5時20分発の便で日本を元気に出発しました。そして、飛行機の中では意外とリラックスできて睡眠もたっぷりとれました。

ロスに着いてはじめて「ああ、外国だ」という気分になりました。特に車の多さに驚きました。その日の夜は明日のことで頭がいっぱいでした。明日はホストと会える、そう考えるだけでドキドキしました。

そして、その当日、朝早くからホテルを出てロス・アンジェルス国際空港へと向かいました。ロスからカンザス、それから私のホームステイするネブラスカへと二度乗り換えをして行きました。着いてみると、いろんな人が自分のホームステイする子を探していました。私のホストCathieも、ちゃんと私のことを待っていてくれました。会えたときはとてもうれしくホッとしました。それまでは、ちゃんと待っていてくれるかなとか、ミスで私のホストはいないのかもしれないなど、深く考えてしまいました。でも、そんな私の不安とはうらはらにCathieはニコニコと私のことを待っていてくれました。

第一印象も、とても親切そうなやさしいおばあちゃんといった感じで、早くも安心してしまいました。約1時間かけてホストの家へと行きました。ホストの家は決して大きく金持ちの家ではないけど、広々とした畑に囲まれたかわいらしい温かみのある家でした。夕方の6時ぐらいにご主人のJeromeが帰ってきて（仕事から）少し話をしました。Jeromeもとてもいい人で、すごくビールのバドワイザーが好きでした。次の日はホストの娘さんのSharonと会いました。Sharonは25歳で、まじめに働いているキャリアウーマンです。とても気さくでいい人でした。

その日のLunchはCathieとSharonと私で「Pizza Hut」でPizzaを食べました。でもそのPizzaの大きいこと！旅の疲れや緊張で、あまり食欲のなかった私には結構つらかった。そのときは途中で気分が悪くなり、もう食べるもんかと思つたくらいです（…でも、アメリカでの生活に慣れていくうちに、私の好きな食べ物にはPizzaがあります…）。それからCathieにはじめてShoppingに連れて行ってもらいました。

ホストの息子さんも、家から車で約5～10分くらいのところに住んでいるので、よく行ってお孫さんたちと遊びました。みんな私より年下なのに、とても大人っぽかったです。ホストの息子さんはGerryといって大工さんです。アメリカ独特のオーバーオールを着ていて、とてもかっこよかったです。ホストの子どもさんやお孫さんたちとはたくさん会いました。なかでも長男の子どもMattと



# YEプログラム・レポート

Ashleyは大好きです。一週間半ほど、奥さんの都合のため預かっていました。最初は全然なついてくれなかったのに、日が経つごとに私とも遊んでくれるようになり、すごく楽しかったです。

そして8月12日から、ホストが毎年行っているというCountry Music Festivalに、Ainsmorthというところまで車で約5時間ほどかけて行きました。初めてMOTELに泊まったときは、とてもきれいでびっくりしました。3泊4日で行ったのでMOTELも家のようでした。Festivalは朝から夜遅くまでやっているの、最初はとても疲れました。それにCountry Musicなんて今まで全然興味がなかったの、いまいち盛り上げれずつまなかったのですが、見たたり聞いたりしているうちに、すごく良くて素晴らしいことに気づいて、毎日ずーっと舞台の前に座っていました。そのFestivalはコンテストになっていてホストの娘さんのSharonもすごく歌がうまく出場しました。そして数多い出場者の中から最終メンバーに残ることができました。でも結局は4位に終わってしまったけれども、とても感動的でした。

ネブラスカはとてもFriendlyで、夜になると仲間が一つ家によく集まり、ギターで歌ったり聞いたりして楽しんでいました。私はそんな雰囲気が大好きでした。町でも、お店に入ってもものを選んでるときなど、知らない人と目が合ったりしたら必ず声をかけ合ったり、ほほえみかけたりと、みんないい人ばかりでした。

私の行ったExteterという町も、人口が約600人という小さな町ですが、人はみんな親切で心のやさしい人ばかりでした。お葬式にも三度ほど行きました。アメリカのお葬式は黒服でなくともよいので、みんないつものように派手な服で来たりしていました。結婚式にも一度行くことができました。私はホストがとてもいい人だったので大切にしてもらって、いろいろなところにも連れて行ってくれて幸せ者でした。

最後の一週間は、とても早く過ぎるのを感じました。25日にリンカーン(州都)までShoppingに行きました。そして、帰る日は悲しくて悲しくて涙が止まりませんでした。CathieもJeromeも私を抱いてくれて、私も抱きかえしました。

あのときはつらかったけれど、必ずまた来ると約束したので、もう悲しくはありません。今度はもっと会話力を身につけて、またCathieに会うつもりです。本当に貴重な体験をさせていただいてありがとうございました。

## カナダ

2 R 2 Z 船橋東LC派遣生 坂爪佳代

私は、この夏、夏期派遣生としてカナダへ行かせて頂きました。この夏の体験は自分にとってとてもプラスになることであつたと感じております。それでは、カナダでの42日間をどう過ごし、何を感じたかを短くではありますが述べていきたいと思います。

私はカルガリーに三週間、エドモントンに三週間滞在しました。カルガリーでは田舎で過ごしました。自分の部屋から見える景色は、真っ青な空と緑豊かな木々とたくさんの牛でした。まず最初に驚いたことは空の大きさです。空がこんないも広く、Bigなものだということカナダで初めて知った気がしました。私は初めての海外だったので心の中は不安でいっぱいだったのですが、この空を見たとき、その心は“どうにかなるさ”の方向に変わっていったのを覚えています。

ここでホストしてくれた家庭は老夫婦の方でした。でも、お孫さんが夏休みを利用して三週間ほど遊びに来ており、また、もう独立

している子どもさんたちが頻りに遊びに来ていたので、とてもにぎやかな雰囲気でした。家族がとても仲が良いという印象を受けました。夏は近くに住んでいる親戚がよく集まってバーベキューをするそうです。私も参加しました。また、彼らはたくさんのお酒を連れて行ってくれました。例えば、パンフ、ドラムヘラー、カルガリーのダウタウン、ヘリテッジパークetc。そして、私は東京に住む短大一年生の女性とダブルホストでした。カルガリーでは彼女と日本食(お好み焼、カレーライス、フルーツ白玉)を作ったりしました。

カルガリーでの三週を終え、エドモントンに行きました。ここではカルガリーのととは全く違う生活でした。まず、ホストファミリーの方は51歳と37歳の夫婦の方でした。子どもさんはなく、とてもきれいな家庭でした。そしてウエストエドモントモールのすぐそばの住宅街で過ごしました。ここでは、小型飛行機に乗せて頂いたり、水上スポーツを体験しました。どれも初めてだったので最高に楽しかったです。

エドモントンの都会で三週を過ごして分かったのですが、田舎と都会ではさまざまな違いがあると思いました。人々の性質、食生活などです。田舎と都会の両方を経験できたことは本当に良かったと思います。カナダの人たちと接して強く思ったことは、彼らは生活をエンジョイするために一生懸命に働いているということです。月曜日から金曜日まで懸命に働き、休日は思いっきり楽しんでいるといった風でした。とてもうらやましく思いました。

この夏カナダで体験したこと、考えたことは、これから私が生活していく上で役に立つと確信して日本に帰ってきました。

最後になりますが、ライオンズクラブの方々には大変お世話になりました、ありがとうございました。



## 韓国

1 R 3 Z 柏中央LC派遣生 加藤 太

ソウルの空港に到着すると、韓国のライオンズクラブのたくさんの方々から私を出迎えてくれた。成田を出発してから一人ぼっちだった私にとって、これほどうれしいものはなかった。ある人は日本語、他方では英語、韓国語で話しかけてくれた。韓国語は分からなかったけど、気持ちは伝わるもので、とてもうれしかった。これが私の韓国での生活の始まりであったのだ。

韓国の着いて最初に困ったのが言葉です。韓国語の会話を勉強していったつもりだったのですが、話していることが全然分からないのです。そんな私を見てホストファミリーは、漢字を使って分かりやすく教えてくれました。漢字が唯一の共通語だったので、同年代の人たちとは英語で話すことができました。



次に、食べ物も問題の一つでした。あちらの食べ物はとても辛いのです。思った以上に辛いのです。最初にキムチを食べたとき、これは食べ物じゃないと思うほどでした。それでも人間というのは変なもので、食べているうちに「もしかして、これは美味しいぞ」と思うようになり、帰るころには平気で辛いものが食べられるようになってしまったのです。

ステイ中は、いろいろなところに連れて行って頂くことができました。その中でも特に印象に残っているのが南北朝鮮を分けている板門店に行ったときのことです。韓国の人たちは入れないそうで、パスポートを持って行くのです。いくつものゲートをくぐり、やっと板門店に着くことができるのです。とても張りつめている感じがしました。韓国の人なら誰に聞いても南北の統一を一刻も早く実現したいと思っているようなのです。今でも、かなり多くの離散家族がいるそうで、この話をしているときの向こうの人々は、とても悲しそうでした。私も一刻も早く南北朝鮮が統一されることを望んでいます。

そして、このステイで一番自分のためになったと思うことは、韓国の若者といろいろな問題に関してディスカッションしたこと。社会問題、兵役、日本と韓国の関係、その他いろいろなことについて語り合うことができました。韓国人が考える日本は、自分が思っていたのとは違いました。もっと「アンチ日本」と思っていたのですが、そうではありませんでした。日本には知ることにできない日本を知ったような気がします。

あるおじいさんは次のように言っていました。「昔、ここでは、いろいろなつらいことがあった。しかし、この国際社会は昔のことにこだわってはいは発展しない。だから私は国際社会の一員として、そのようなことを忘れようとしているし、忘れなくてはならない」

これが私のこのステイで得た一番印象的な言葉です。最後に、このYEに関係していただきましたライオンズクラブの方々に心よりお礼申し上げます。

## ケンタッキー

1 R 3 Z 印西LC派遣生 山口裕代

ケンタッキーフライドチキンという言葉だけを頼りに私はアメリカのケンタッキー州へ向かいました。とにかく、何の情報も知識もなかったんです。

私にとっての最初の難関は、アメリカでの国内線乗り継ぎでした。なんと、私の乗った飛行機が着いたときには次の飛行機の出発時刻だったんです。友達と私の二人で、右も左も分からない空港を、知っている単語だけを頼りに急ぎました。不安、恐怖、あのときの気

持ちは、もう一生感じることはないでしょう。家族と無事に会えたときは涙が出てしまいました。

これから40日間、私は一家庭に滞在しました。家族はみんな温かく、私はすんなりと娘になることができました。名前は簡単にHiroと呼んでもらうことになりましたが、ここで次の難関。ほとんどの子どもは、私をHeroと間違えたのです。「Aer you hero? Fight.」子どもとはいっても力は強く、私は自然に英語で怒ることを覚えました。

毎日の生活は驚きと感動の連続でした。ハベはすでに仕事を引退していたので、「ライオンズの活動以外はフリーなんだ」と言い、見せられたスケジュール表は予定でびっしりでした。見るものすべてが新鮮で、ビックであれば何?これは何?と、いつもはしゃいでいました。そして、会う人はみんな気さくに話しかけてくれてアメリカの国民性を学びました。

一番うれしかったのは、観光に連れて行ってくれたとか、そういうことではなく、娘さんのクリスタルの出産の次の日のことでした。私が赤ちゃんを抱いていると、「あなたは、その子のおばさんだよ。Aunt Hiro.」と。私は一瞬理解ができないうれしかったです。本当の家族だと実感したからです。今までに感じたことのない感情が心の中にあふれました。

アメリカの生活を学ぶとともに、心の豊かになった夏でした。またいつか、姪の成長を見に行く予定です。

こんなに素晴らしい機会を与えてくださったライオンズクラブの皆さんと、両親に、心から感謝致します。ありがとうございました。



## オーストラリア

2 R 2 Z 白井LC派遣生 木村桃子

私は、オーストラリアのニューサウスウェールズ州のHawks Nestへ行きました。

この町へは、シドニー空港から車で北へ2時間半くらいかかります。とても小さな町で、人口は1,500人くらいでした。あるいて5分くらいで海へ行けました。オーストラリアというと、グレートバリアなどが有名ですが、同じくらいきれいな海でした。エメラルドグリーンの水で、運が良ければイルカも間近で見ることができます。私は6週間の間に5~6回見ることができました。私のホストファミリーは、両親とも自分の店で毎日働いています。お父さんの仕事は自転車屋で、自転車や芝刈り機のレンタル。お母さんの仕事は写真屋で、日本のフジフィルムの店。それと一緒に、絵画を売ったり額を作ったりしていました。家には3人の子どももいますが、2人は自分で暮らしていて、私と同じ年の女の子がいました。彼女は、ライオンズクラブで4~5回くらい日本へ来たことがありました。

# YEプログラム・レポート



それに学校で日本語を教えているため簡単な日本語を話すことができたので、とても助かりました。

週末には多くのところへ連れて行ってもらいました。自然のスケールの大きさには本当にびっくりしました。カンガルーには見飽きるくらいでした。野生のコアラも町で見られました。私がオーストラリアで挑戦したかったスキューバダイビングもやることができました。テキストは日本語のを取り寄せてもらいました。そして、先生と一緒に海へもぐり多くの魚を見てきました。ダイビングをするのに必要なライセンスも取ることができました。しかし、テキストは日本語で書いてあるのですが、先生に質問や内容を英語で伝えるのは大変苦しかったです。

オーストラリアへ行って日本と違うと思ったところは町の人たちが本当に仲がいいところです。車で会ったり道で会ったりすれば、必ず手を振ったり話しかけたりします。私のことを知らない人も声をかけてくれたりしました。それと、自分の住んでいる町をとても好きなお店です。胸を張って自分の町が一番いいと、いつも私に言っていました。

反対に日本のいいところも気づきました。日本人は工夫するのがうまいと思いました。例えば料理とかです。それと、日本は早く世界事情が分かります。日本の情報網の良さは素晴らしいと思いました。

やっぱり一度日本を離れてみなければ気づかないことや考え方の違いが分かり、とても勉強になりました。

不安と緊張のためか、トランジットだったので乗り換えのときに気分が悪くなってしまった。さすがに10時間以上もすわりっぱなしだときついと感じた。

現地の空港ではホストの人が迎えに来てくれていた。予定には書かれていなかったホストだったので、どんなところへ連れていかれるのだろうか心配だった。

三つの家庭に入ってみたけれど、今考えると、第二家庭が当時は嫌な思い出もあったけど、一番充実した生活を送っていたのではと思う。初めて体験するようなことが、その家庭滞在中にばかりかたまっていたから…。例えば、乗馬や、川で泳ぐことや、寝袋で寝ること、他にも夜遊び（ディスコやビリヤード等）やナイフ投げなども。絶対に日本ではできそうにないことも「ここはハンガリーだから」と口癖になってしまうのではと思うくらいハマはずしたりもした。

ただ感心したのは、ハンガリーの人は、勉強した人は少ししかしてなくても、自国の歴史くらい英語で説明してしまっているのには驚いてしまった。日本人は2年くらい勉強しただけでは、日本の歴史を説明することなんてできないと思うし、まして日本語でさえ説明できないのではと思う。

でも、本当に向こうに行くとは何とかなってしまうし、変わった友達も増えるし、度胸はつくし、知識は増えるし、いいことづくめの体験だったと思う。来年の部活での日米戦への大きな励みになったにちがいないと思う。



## MSB Waterways Authority extends jurisdiction

The Madison-Sheridan Boat Waterways Authority is extending its jurisdiction to the Madison-Sheridan area, from the start of the 1993 boating season.

Members for Merrill Lake, John Storer, was also part of this proposal by the Deputy Premier and Minister for Fish, M. Armstrong.

Local users of the waterway had the jurisdiction to regulate the water of MSB and, as a result, the usual water has been available at a low.

In addition, it has become clear that the possibility of boating on small water has been declining which has led to an increase in boating accidents and facilities on small water.

The extension of the Waterways Authority's jurisdiction means:

\* An intensive education campaign aimed at boat users who are not fully aware of the regulations.

\* The Waterways Authority and Water Police will have power to stop, search, regulate and issue fines to their vessels.

\* The same regulations as those which apply on enclosed waters will now apply to small water as well.

\* Some other activities and inspectors from a number of councils along the MSB will have the authority to enforce the regulations and investigate offences where appropriate.

The regulations are not different to those which apply to those operators on enclosed waters and will bring consistency to the two different areas of "small" water.

Local users who use their craft should also check these new regulations on small water, as in which, the new regulations will directly affect only a minor of users.

Full details will appear in the Waterways Authority's information. Line on 02 342200 or 02 342214 (landline in regional areas).

**Nota** 50c  
GATEWAY TO THE SMALL LAKES  
SATURDAY, AUGUST 7, 1993  
Published first and third Saturdays each month  
Circulating in Oak Carleton, Huron, Kawartha and Dutch Settlement districts

INSIDE YOUR COMMUNITY NEWSPAPER TODAY:  
Lionsess changeover photos Page 3  
Bulandehah News Pages 14 & 15

## インディアナ州

5 R 2 Z 君津 LC 派遣生 竹内不二夫

今回YE派遣生として、アメリカ合衆国の五大湖のひとつで有名なミシガン湖の南にあるインディアナ州へと派遣させて頂きました。

インディアナ州はトウモロコシ畑が多く、カントリーといった感じのところが多いのですが、僕の滞在地はシカゴの近くメルリビルという、都会に少し手をかけたといった場所でした。街の雰囲気は日本とたいして変わらないのですが、どの家にも十分な芝生の庭があり、木が多く、それでいて道や図書館などといったものも整備されている、大変住みやすい環境でした。気候も穏やかで、晴れた日の続く夏でも、それほど暑い日はありません。それでも、夜は何度か冷え込むことがあり風邪を引くことがたびたびありました。

そんな環境の中で、ホストファミリーはというと、七人家族の大きな家庭で、みんな陽気な性格で明るい人たちがばかりでした。ホストマザーは忙しい人で、子どもの送り迎えや大学に学生として行っていたために、一日のうちに会えるのは夕食近くの数十分くらいし

## ハンガリー

7 R 2 Z 成東 LC 派遣生 篠崎由美子

私は海外旅行だけでなく、国内でも飛行機に乗ったことがなかったので、英語のことよりも、飛行機が不安でたまらなかった。その





がありませんでした。ホストファーザーはというと、鉄工所で働いている人で、僕がこの家にやっかいになる二週間くらい前に両手両足を火傷して入院していました。僕が日本に帰るまで、結局包帯は取れないままで、あまり動くことができず、話をする機会もそれほど多くはありませんでした。

兄弟五人のうち、長男のジムと次男のマイケルは自立ということから一人住まいをしているらしく、時々しか顔を合わすことができませんでした。大学生の姉妹、ハーザーとマーガレットとは一緒に生活をしました。二人は家事や末っ子の面倒をみるといったホストマザーの代役をしていました。もちろん、僕も彼女たちにはかなりお世話になりました。よく話ができただけなのは彼女たちくらいだったので、彼女たちか忙しくなると、本当に僕は退屈になってしまいます。でも、そんなときは、無邪気ですぐ怒るティファニーと大家族に飼われている三匹の犬と三匹の猫が遊び相手になってくれるので助かります。

次に苦勞したことです。僕の場合、まず食事です。アメリカでの食事は、朝、昼と自分の好きなようにあるものを使って食べるのですが、いくら家族として扱ってくれているといっても、かってに冷蔵庫を開けて食べるのは気が引けます。やはり遠慮してしまいます。昼食や夕食には、たいてい一品以上のおかずと主食のパンやフレークで食事です。それも、自分の食べれる分だけ取って食べる、そういった感じなのですが、大概おかずの量が少なく、好きなだけ取ってしまうと、後の人の分が無くなってしまいそうな量しかないのです。十分な量を取るわけにはいかず、大変でした。この自分の好きなように食べるという食事は、もちろん自由で良いと思うのですが、家族団欒というようなふれあいを作るためにも、みんなで食事がしたかったと思っています。期待していた牛肉は、一度ステーキをご馳走になったきりでふだんはひき肉ばかりでした。正直言って、食事には満足できませんでした。

ほかに苦勞したことで、呼び名の確認の失敗がありました。僕はこのことを大したことだとは思っていませんでした。ところが、初めて会ったときに、その人の呼び名の確認ができなくて後になってからは失礼な気がして、そう何度も聞くことはできません。時間が立てば立つほど聞きずらくなってしまい、呼びかけることもできなくなってしまいます。考えてみれば、こんな簡単なことがコミュニケーションの第一歩なのかもしれません。ふだんの生活はほとんど家にいる毎日でした。家で映画を見たり、ラジオを聞いたり、犬や猫のペットたちと遊んだり、そんなことをしていました。それでも時々外出もします。買物に付き合ったり、ドライブインゲームビーに映画を見に行ったりもしました。シカゴに連れて行ってもらったことも何度かありました。特に、野球観戦や博物館に行ったことが印象的で忘れられません。でも、もっと忘れられない思い出はキャンプです。それというのも、アジアからヨーロッパにわたる、それぞれ言葉の違う者同志が、どんな国の人たちとでも話することができるということを、自分の身体で体験できたからです。簡単なことでも話ができただけは、とてもいい気分させてくれます。言葉でなくとも分かってもらえれば、気持ちのいいものだし、分か

ってもらおうと努力している人は、とても優しく見えます。国柄や服装や目の色、肌の色、そんなことは関係がなくて、裸のまま付き合うことができたと思っています。みんながみんな0で1や2になるための文化や風習などもなく、自由で原始的で、いつもなら当たり前のことが、とても気持ちのいいものでした。いろいろな人が生きているんだと、知識で知っている以上に理解することができました。人間にとって大切な心の部分を教えられたような気持ちです。だから、こういった体験ができたことにとても感謝しています。つらいこともやはり何度かありました。それでも、つらさの穴を埋めてくれる喜びもまたあります。こういったつらさや喜び、ふれあいなどの体験を間違いにするつもりはありません。40日以上におよぶ全てのことが、これからの僕を前向きに進めてくれるように思えます。本当に貴重な体験をありがとうございました。

# 県央版

1993年(平成5年)8月10日(火曜日)

千葉日報

## 中途失明撲滅を



千葉県市原市の予校で、中途失明撲滅を推進するため、ライオンズクラブ国際協会が主催する「ライオンズ」総会を、市原市の代田産業センターで開催し、約200名が参加した。市原市市長の挨拶で、ライオンズクラブの活動が、社会に貢献していることを歓迎した。ライオンズクラブの活動が、社会に貢献していることを歓迎した。

### 四街道市の楠岡巖さん

### 地域専従のメンバーに

### ライオンズ・ク国際協会が指名

ライオンズクラブのメンバーに、地域専従のメンバーに指名された。ライオンズクラブのメンバーに、地域専従のメンバーに指名された。ライオンズクラブのメンバーに、地域専従のメンバーに指名された。

# クラブ会報毎月発行

市川LC L渡辺誠之



私ども市川クラブは、現在正会員54名。PR・情報委員は6名で、これに担当の第2副会長、理事を加え、8名が会報の発行に携わっている。

最初に、発行までの経緯、手順について。

1. 月一回の定例委員会で、翌月、翌々月号の内容を十分に検討、方針を立てる。

2. 分担制の導入。

8名を2名ずつの4組に分ける。もちろんベテランとニューフェイスを組み合わせる。この4組が各々3か月間、原稿依頼から編集、校正、発行まで全責任を持つ。3か月間はサボることは許されない。発行中止に繋がるから。ニューフェイスもこれで、どうやって会報を発行していくかが、おおよそ理解できる。このことは非常に大切なことで、編集できるメンバーを増やすことができるからである。委員会の編成は毎年変わるので、書くことはニガ手でも、これならできるという自信を持つことになるからだ。人材育成である。

書くことに慣れるようにするには、また別の方法を用いるが略する。

次に、編集について。

担当委員は、計画に基づき原稿依頼者に会報用の原稿用紙を渡し、それに書いてもらう。会報のスタイルは定まっており、1行23字、1頁文字だけで100行となっているので、受け取った原稿はどのくらいのスペースを占めるかが一目で分かる。それにタイトル、写真、カット等で頁を埋めていくので、素人でもできる。

そのようにした「割り付け」を原稿とともに、印刷業者に渡すと、数日で校正が出、担当者が校正後、業者に返せば後は出来上がりを待つだけである。

最初のころはこのようにしていたのだが、この方法だと、担当者は委員会と合わせ3回集まらなければならない。そこで、現在では省力化し「割り付け」と「校正」を同時にするようにした。すなわち、原稿が入るとすぐに業者に渡し、会報配布の一週間前までに写真植字で1行23字で棒打ちしてもらい、それにタイトル、写真、カット等の大きさを決め、1頁ごとに割り付け、編集、校正も同時に行う。このタイトル、写真、カット等の有効な活用は、誌面にゆとりを与え、読みやすくなる。慣れれば、20~30分で済む。場所、時間が分かっているので、他の委員やヤジ馬も集まり、一杯ワイワイとここで思いがけないアイデアのわくこともある。

出来上がった「割り付け」と「校正」を業者に渡し、原則として翌月第一例会日に配布する。

## 会報発行の基礎項目について

1. 会報はクラブの記録と歩みに主眼を置く。  
これは残しておかないと、後になって、何にも分からなくなるというニガい経験と、周年記念誌の作成に役立つ。
2. 年度の会長の就任挨拶、すなわち会長方針と新年度ならびに退任挨拶を必ず載せる。
3. 3副会長、役員、委員長の抱負と計画。  
この2、3番目は次の役職の当たる者にとっては、大変に参考になる。数年分を遡って見ることにより、時の流れ、クラブの流れが読めるからである。
4. ACT、例会、理事会報告、ゲスト、メンバースピーチの主旨等々。
5. ドネーション。  
記載の一言と金額を。また、メンバー、家族等の近況も知ることができるから。
6. 年間シリーズ・コーナー。  
年度はじめにタイトルを決め、メンバーに割り当てる。今年のタイトルは「わが家の近況」である。今までに「私を語る」「私の提言」「アクティビティを考える」「誕生日の一言」「郷土を語る」「私の趣味」等々。
7. 自由コーナー。
8. 新入会員紹介、物故ライオン追悼特集等々。これは遺族の方々に感謝され、また他にも役立っているようだ。
9. 頁数にこだわらない。4頁でも16頁でもいい。
10. 年度終了後、クラブ活動の全てと年表を必ず表にまとめる。これは新入会員には非常に役立つ。
11. 会報、写真等は記録保存委員会（内規で設置）で、整理、保存。  
凡そこれらを基礎項目として会報を作成している。  
当クラブは、本年で結成33年目になるが、17年前すなわち1976年7月号から毎月発行。今日まで継続できたのは、クラブ運営のC. I. (クラブ・アイデンティティ) に会報を位置付けたからと思う。  
各年度、会長方針の一つに取り上げられ、運営費の六分の一、予算にして100万円、毎号平均8頁建てで今日におよんでいる。  
委員会の役目柄、外に向かったPR・情報活動も2~3行っているが略す。  
ご意見、ご指導、ご批判をいただければ幸いである。



## レオクラブと奉仕

333C地区レオ委員長

塚田裕也

ライオンズクラブの中では「新しいライオンズクラブを作ることは、ライオンズクラブが行う社会奉仕の中でも最高の奉仕である。」と、よく聞かされる。

新クラブを結成すること自体は、社会奉仕に直接結びつくわけではないので、新クラブが将来行うであろう社会奉仕を考えて、間接的な奉仕活動の発展を評価したものであろう。

そうであるならば、もう一步進めて「新しいレオクラブを作ることも、最高の奉仕である。」と言いたいと思う。レオという青少年を通して、将来の社会での奉仕の芽を育むことになるからである。

奉仕活動は、現在の成果や直接的な効果のあるものには高い評価が与えられ、将来に成果が発生するものや、間接的な効果しか期待されないものには低い評価しか与えられないことが多い。新しくレオクラブを作ることはどちらかというとも成果も将来的であるし、効果も間接的であるため、ライオンズクラブの中では、とかく隅の方へ押しやられがちである。

ところで、わが国の発展の基盤は、国民の高い教育水準にあるといわれる。青少年に対する教育活動の長い歴史の成果が、いま現れているのだ。したがって、青少年教育の重要性は誰もが認める。しかし、そのわが国の教育を、先進国といわれる国々の教育と比べてみると、奉仕についての教育が大変貧弱だといわれる。確かに、レオクラブを運営してみて、現在の青少年の奉仕の精神の弱さには驚くことがある。奉仕されることは大好きだが奉仕することは大嫌いな青少年が多い。

わが国におけるレオクラブの育成は、このわが国の教育に不足している奉仕の部分を補い、将来の日本に奉仕の土壌を醸成し、国際社会の中で、人道的に重要な役割を演じるための一助となるほどである。

新しくレオクラブを作ることは、決して評価の低い奉仕でもなく、隅に押しやる奉仕でもない。



ライオンズレートとドル送金



333-C地区 CAB幹事  
 上川崎忠男

LCIFの中のCSF（キャンペーンサイトファースト）が今期完成の年ということで、LCIF（ライオンズクラブ国際基金）への使途指定送金の割合が多くなってきております。

こんなとき毎月示されるライオンズレートはどうして決まるか、そのようなご質問をいただきました。

執筆中現在、1993年10月の平均ドル対円のレートは、106円、ライオンズレートは111円。ライオンズレートとの差は1ドル5円である。その差5円は、1,000ドルで5,000円、5,000ドルで25,000円となり、大きな格差の生じるわけを知りたいとお尋ねでした。

日本駐在員事務所に問い合わせたところ、毎月5日頃国際協会から、その月のドル対円のライオンズレートが知らされて来るとのことでした。

釈然としないので、ライオンズレート円建て送金とドル建て送金との比較をしてみました。

その結果言えることは、ライオンズレート送金は計算が簡単であり、表-1の通りであります。

ドル送金はやや計算が複雑になり、表-2の通りとなりました。

表1 ライオンズレート 1 \$ : ¥11100

\$ 1,000	\$ 2,000	\$ 3,000		\$ 5,000	\$ 10,000
¥111,000	¥222,000	¥333,000		¥555,000	¥1,110,000

表2 ドル送金 1 \$ : ¥106

送金額	\$ 1,000	\$ 2,000	\$ 3,000		\$ 5,000	\$ 10,000
実勢レート	¥106,000	¥212,000	¥318,000		¥530,000	¥1,060,000
送金レート	¥+1,000	¥+2,000	¥+3,000		¥+5,000	¥+10,000
LCIF \$口座送金手数料	¥ 5,000	¥+5,000	¥+5,000		¥+5,000	¥+5,000
合計 ¥	¥112,000	¥219,000	¥326,000		¥540,000	¥1,075,000

表-1、表-2 送金合計との差 ¥⊕1,000 ⊖3,000 ⊖7,000 ⊖15,000 ⊖35,000

¥⊕1,000は表-1より¥1,000多く¥7,000は表-1より少ない金額で済む

表-1と表-2を比較してみると、\$1,000をドル送金すると、\$1,000表-1の合計より、表-2の合計は¥1,000余分にかかります。また\$5,000をドル送金すると¥15,000少なくて済みます。さらに\$10,000をドル送金すると¥35,000少なくて同じ効果が生じるのです。\$1,000と\$10,000とでは送金手数料は同じですので、高額るとき格差の出ることがわかりました。

\$1,000献金の場合、10人まとめてドル送金をして申請書を各人10枚出すとすると、¥35,000を節減することができます。\$5,000以上のドル送金の場合は、アメリカ本土で行う献金との差が僅かと言えます。

ライオンズレートについて、ご理解いただけましたでしょうか。

# ライオンズクラブ国際協会

## 333-C 地区ライオンズクラブ

ライオンズ国際協会、333-C地区の会員分布は下のとおりです。

### ■1R

市川、市川東、下総中山、浦安、行徳、  
市川北、浦安シーサイド、浦安中央  
松戸、流山、松戸中央、松戸東、野田、  
松戸ユーカー、関宿、松戸南  
柏、我孫子、柏中央、柏グリーン、  
印西、柏オーク、柏さくら、柏菜の花

### ■2R

船橋、船橋中央、鎌ヶ谷、沼南、船橋ポート、  
習志野、八千代、船橋東、船橋京葉、船橋北、  
習志野中央、八千代東、白井

### ■3R

千葉、千葉中央、千葉若潮、千葉ポート、  
千葉幕張メッセ、千葉グリーン、市原、  
千葉エコー、市原南、千葉京葉

### ■4R

銚子、佐原、東庄、神崎、大栄、栗源、  
銚子中央、八日市場、旭、総武中央、飯岡、  
多古、千漣、山田町、光

### ■5R

木更津、木更津中央、袖ヶ浦、木更津金鈴、  
富津、上総、君津、君津中央

### ■6R

館山、鋸南、館山中央、館山北、館山南、  
鴨川、房州白浜、房州朝夷、房総勝浦  
夷隅勝浦

### ■7R

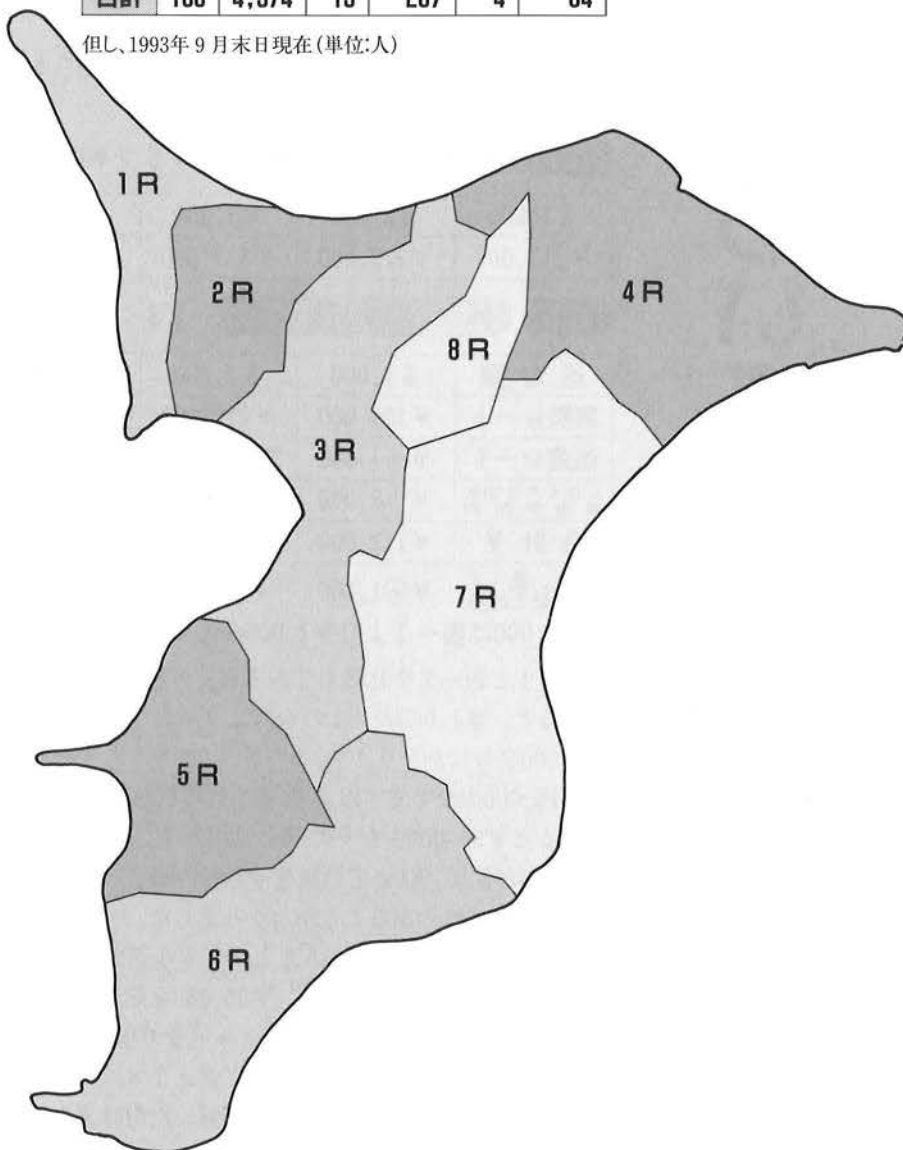
茂原、上総一宮、茂原長生、白子、長南、  
長柄、茂原中央、東金、大網白里、  
九十九里、成東

### ■8R

成田、酒々井、成田グリーン、成田平成、  
富里、下総、佐倉、四街道、八街、  
八街グリーン

	LC		LS		LEO	
1R	24	1,194	2	56	1	24
2R	13	586	1	22		
3R	10	492	2	48		
4R	15	723	1	26	1	14
5R	8	313	5	83	2	26
6R	10	424	2	32		
7R	11	398				
8R	10	444				
合計	100	4,574	13	267	4	64

但し、1993年9月末日現在(単位:人)





Dai-ichi Hotel Tokyo Bay



*Dai-ichi Hotel Tokyo Bay*  
*X'mas Dinner & Show*

*Dec. 17 fri. Izumi Yukimura*

*18 sat. Ryoko Moriyama*



第一ホテル東京ベイ クリスマス・ディナーショー

雪村いづみ 12月17日[金] 森山良子 12月18日[土]

料金: ¥38,000 [第一部]ディナー17:00～ ショー18:00～ [第二部]ディナー20:00～ ショー21:00～

(お一人様、税・サービス料込)

お問合せ  
ご予約は TEL.0473(55)3333 宴会販売  
まで





ちばぎん

いつもお近くに いつも温かく



# かなえない想いに向けて！ ちばぎん 秋の貯蓄プラン。

有利な自由金利の定期預金が勢揃い。お手もとの資金や分散している預貯金を一つにまとめて、総合口座の定期預金にしませんか。いざという時手軽で便利な自動融資もご利用いただけます。

300万円からより有利な運用に最適！

**スーパー定期300**

お預け入れ額が自由になってグッと身近に！

**スーパー定期**

1年たったからお好きな満期日を指定できます。

**期日指定定期預金**

口座振替で手間をかけずにお積み立て。

**積立定期ひまわり**

※積立額をまとめて総合口座定期に自動振替します。